

プロジェクトチームによる出張講座等でみどりの食料システム戦略周知

将来を担う若い世代にみどりの食料システム戦略をアプローチ
～食と農への意識醸成を図る～

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

みどりの食料システム戦略は、流通・消費面へも一体的に意識醸成を図る必要がある一方、県内の教育現場等における農業への関心は比較的高く、出前授業等の現場ニーズが徐々に増加してきたため、拠点内で体制整備の上、取組を開始。

○ 取組の内容

新たに「出張講座実践プロジェクトチーム」を立ち上げ、小中学校等関係機関と連携、幅広い対象者（小中学生・保護者・その他一般市民等）に対し出張講座・出前授業を実施（R6は、11回）。

対象者の年齢・理解度に応じて独自の説明資料、パンフレットなどを作成し、様々な対応時間（10分～120分）に合わせて関心を持ってもらえるよう説明内容を工夫。

○ 効果・成果、今後の方向性

授業を受けた児童や教職員の方々から、農や食への関心が高まり、自分たちにできることを考えるきっかけとなったという声が多く寄せられた。教育委員会とも意見交換を実施し、今後も情報共有しつつ連携して取り組んでいく方向性で意思統一を図った。



↑
子ども達の感想

R6. 7. 30 放課後児童クラブ「太陽の子」

体制図

